



Press Release

2006年10月2日
センドメール株式会社
株式会社 CSK Win テクノロジ
株式会社テンアートニ

センドメール、CSK Win テクノロジとテンアートニ、誤検知率 0.0001%の 高性能迷惑メール対策エンジンを搭載したセキュリティアプライアンスを発表

既存のメールシステムに容易にアドオン設置が可能で、
システム管理専任者不在の中小規模企業に最適

センドメール株式会社(本社:東京都港区、社長 小島國照)、同社の販売パートナーである株式会社 CSK Win テクノロジ(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 東 敬司)と、株式会社テンアートニ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:喜多伸夫、東証マザーズ:3744、以下テンアートニ)の3社は、高性能迷惑メール対策フィルタを搭載し、メールシステム管理の専任者が不在の中小規模企業でも、設定・導入・管理が容易なセキュリティアプライアンスサーバ「EasyNetBox for Spam Filter powered by Sendmail」(以下 ENB スпамフィルタ)を発表し、本日10月2日より販売開始いたします。

迷惑メール対策技術は、異なるさまざまなテクノロジーが存在し、検知率は30%~99%レベルまで大きな差があります。このため、システム部門にとって迷惑メール対策フィルタの技術的評価は非常に高度な知識を要する困難な作業であり、また、誤検知によるユーザからのクレーム対応も管理者の大きな負担となっています。

ENB スпамフィルタは、先進的なコラボレーション方式(※)により、検知率98%以上と最も信頼性が高い迷惑メール対策フィルタ「Mailstream Manager Anti-Spam」を搭載しています。この迷惑メール対策フィルタは、海外のみならず日本国内の大手ISPや企業で多数の実績があり、英語など外国語の迷惑メールはもちろん日本語の迷惑メールも同等以上の精度で検知します。

また、正規メールが迷惑メールと判定される誤検知(フォールスポジティブ)率も0.0001%と、ほぼ0%に近いことが実証されていますが、誤検知があった場合でも、ユーザからのフィードバックでほぼリアルタイムに修正が反映される仕組みとなっており、管理者の負担が大幅に軽減されます。

※コラボレーション方式の詳細は添付資料をご参照ください。

また、ENB スпамフィルタは、Webベースの分かり易い管理画面から迷惑メールの処理方法などを簡単に設定でき、メールの処理量や迷惑メール検知率などをリアルタイム、かつグラフィカルに把握できるダッシュボード機能を備えています。さらに、ホワイトリスト/ブラックリストによる迷惑メール処理は、管理者がサイト全体に設定するだけでなく、メールユーザが個別に設定することもできるので、迷惑メールかどうか判定が曖昧なメールを的確に処理することが可能です。ENB スпамフィルタの主な機能と特長は以下のとおりです。

[ENB スпамフィルタの主な機能と特長]

◆検知率 98%以上、誤検知率 0.0001%の業界最高性能の迷惑メール対策フィルタ搭載

最も信頼性の高い迷惑メール対策フィルタエンジンにより、企業のメールポリシーに則して迷惑メールをメールゲートウェイで遮断することができます。また、メールユーザーに迷惑メール判定スコアを提供することで、個人の判断基準に従って、効率的な迷惑メール処理が可能です。

◆専任管理者不在の中小企業でも導入しやすく、管理者負担を最低限

ENB スпамフィルタは、既存のメールシステムに影響を与えずにアドオン導入でき、Web ベースの GUI で簡単な設定を行うだけで使用可能です。

また、誤検知率が非常に低く、最新の迷惑メール情報がリアルタイムに反映されるため、メールユーザーのクレーム対応は必要ありません。

メール処理量、迷惑メール検知率、ポリシー別統計などをリアルタイムにグラフィカル表示可能です。

◆信頼性が高く安心して導入できる国産アプライアンス

アプライアンスの提供にあたっては、ハードウェアの品質、導入後の迅速なサポートが重要です。

ENB スпамフィルタは、SENDメールがサポート力の高い日本のパートナーと組んで企画・提供する製品であり、SENDメール・ブランドでのアプライアンスは国内初となります。

ENB スпамフィルタの企画・販売にあたり、SENDメールは新たにテンアートニと提携し、CSK Win テクノロジーとの3社共同でビジネスを推進します。各社の役割は以下の通りです。

- ◆SENDメール 迷惑メール対策フィルタソフトウェアの提供元として、ソフトウェアサポート面の支援を行うとともに、プロモーション、プリセールスを行います。
- ◆CSK Win テクノロジー ENB スпамフィルタのサポートを担当するとともに、プロモーション、パートナー開拓・支援、プリセールスを行います。
- ◆テンアートニ ENB スпамフィルタのアプライアンス化および中小規模ユーザーに対して販売実績が豊富な同社のパートナー各社を通じて販売を行います。なお、大規模ユーザーのカスタマイズが必要なシステムについては、個別に「富士通 PRIMERGY」などのサーバを使用し、システム構築にて対応も行います。

ENB スпамフィルタの販売価格は、100 ユーザモデル「EasyNetBox for Spam Filter 100U」が 655,000 円(税別)、200 ユーザモデル「EasyNetBox for Spam Filter 200U」が 810,000 円(税別)で、2006 年 10 月 10 日出荷開始予定です。販売目標は、向こう 3 ヶ月で約 300 台を予定しています。

■ 製品概要

◇製品名 : EasyNetBox for Spam Filter powered by Sendmail

◇搭載するソフトウェア

- ・ 迷惑メールフィルタ : Sendmail Mailstream Manager Anti-Spam
- ・ 統合管理ソフト : Sendmail Mailstream Manager

◇ハードウェア部

- ・ 放熱性能の高い、小型アルミ筐体を採用したファンレスシステムにより、高い静音性と省電力を実現
- ・ 外形寸法 195mm (W)×268mm (D)×80mm (H) の省スペースシステム
- ・ CF (Compact Flash) スロットを装備し、CF から OS やアプリケーションを起動可能

■ 販売/出荷開始など

◇販売開始 : 2006年10月2日

◇出荷開始 : 2006年10月10日 (予定)

◇販売価格 : 100 ユーザモデル「EasyNetBox for Spam Filter 100U」687,750 円 (税込)

200 ユーザモデル「EasyNetBox for Spam Filter 200U」850,500 円 (税込)

※製品筐体および画面写真は以下からダウンロードしてお使いください。

<http://www.sendmail.com/jp/pressroom-enb/>



外観 (100U / 200U 共通)



管理者用設定画面



管理者用ダッシュボード画面

■CSK Win テクノジ について

<http://www.cskwin.com/>

株式会社 CSK Win テクノジ(旧社名:株式会社エイ・エヌ・ティ)は、Windows ソリューションに関する豊富な経験とノウハウを活かし、設計・開発から運用サポートまでの全ての面で先進的なサービスを提供しております。当社はマイクロソフト社の世界初の合弁会社として設立されたのち、現在では CSK ホールディングスの 100%子会社として『CSK グループにおける唯一の Windows 専門特化企業』の役割を担っています。また、Windows 環境を強化する最先端のソフトウェア製品の開発・販売を行っており、SENDメールやセキュリティ関連製品を中心に、幅広いラインナップを取り揃えております。マイクロソフト社との強い協力関係と高い技術力を活かし、セキュリティ強化から情報の戦略的活用まで付加価値の高いサービスを提供しております。

■テンアートニ について (11 月 6 日よりサイオステクノロジーへ改称します)

<http://www.10art-ni.co.jp/> 製品掲載サイト <http://www.nlcomputer.com/>

テンアートニは 1997 年の設立以来、最先端のソフトウェアテクノロジーで、企業の皆様に革新的な情報システムを提供しています。Linux に代表されるオープンソースソフトウェアのサポート事業や、Java を使って開発した Web アプリケーション受託開発事業では、多くのお客様から高い評価をいただいております。それらは Linux サポートサービスにおける国内シェア No.1 の実績と、業界随一の Java アプリケーションソフトウェアの開発実績に結実しております。今後もオープンソースソフトウェアと Web アプリケーションソフトウェアのリーディングカンパニーとして技術革新に貢献し、またグローバルに活躍出来る企業を目指して、11 月 6 日、社名をサイオステクノロジーへ変更し、お客様の信頼にこたえてまいります。

■Sendmail 社について

<http://www.sendmail.com/> <http://www.sendmail.com/jp/>

Sendmail 社(Sendmail,Inc. 本社:カリフォルニア州エメリビル)は、オープンソースのメール配送エージェント(MTA: Mail Transfer Agent)である「sendmail」の開発者であり、“Eメールの生みの親”と言われているエリック・オールマン(現 CSO)により、ビジネスユーザのニーズに対応するために 1998 年に設立されました。現在は、スパム/ウィルス対策、トラフィック制御、コンプライアンス遵守のためのメールアーカイブなどの各種ソリューションを含め、ゲートウェイからメールボックスまで、信頼性の高いメッセージング基盤構築のための製品・技術サポートをトータルに提供しています。Fortune10 の内 7 社、Fortune100 の 50%が Sendmail 社の商用製品を採用し、日本国内でも、官庁、自治体、企業、大規模 ISP で 3 万ライセンス以上の出荷実績があります。英国、ドイツ、フランス、および東京(アジア太平洋地域)に拠点を擁し、日本法人は、2003 年 1 月に設立されました。

今回の発表に関するお問い合わせ先

SENDメール株式会社
担当:小島 / 武田
marketing-japan@sendmail.com
TEL: 03-5537-0.0145

株式会社 CSK Win テクノジ
担当:藤澤
sales@cskwin.com
TEL: 03-3343-2503

株式会社テンアートニ
担当:高野
rtakano@10art-ni.co.jp
TEL: 03-5298-2856

Sendmail は、Sendmail, Inc.の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

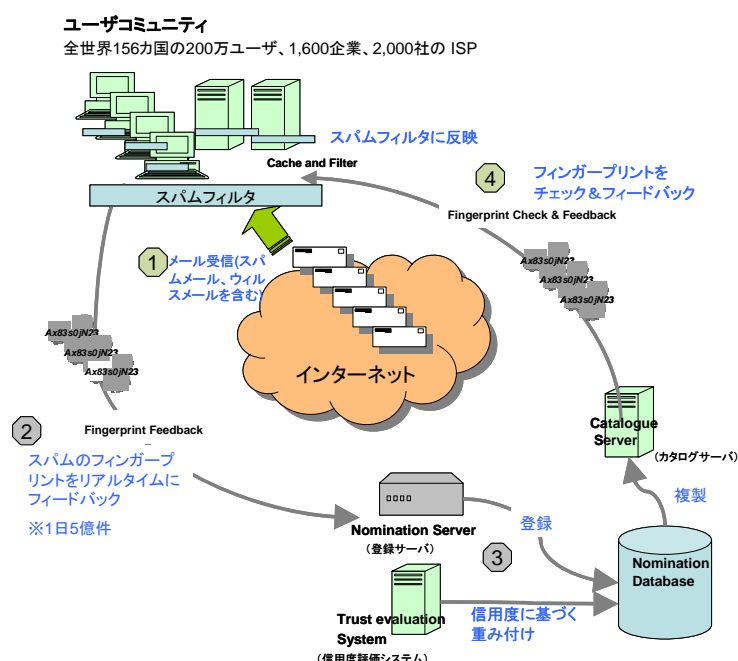
◆コラボレーション方式の迷惑メール対策フィルタについて

ユーザから寄せられる迷惑メール(スパムメール)情報を基に、メールがスパムか否かを判断するための情報をデータベースに登録し、それら参照することでスパムメールを特定する方式で、以下の3つの機能から成る。

- (1) スパムメール情報を収集するためのネットワーク
- (2) レポートを寄せたユーザの信用度を評価する「トラストシステム」
- (3) ユーザのレポートを基に、スパムメールとされるメールの特徴(フィンガープリント)を登録し、その情報をユーザが参照するデータベース

データベースに登録された情報を基にスパムメールを特定する点で、ハニーポットやブラックホールリストと類似しているが、情報を寄せるユーザの“信用度”を、情報の更新に大きく反映させている点が決定的に異なる。(正確な情報を寄せるユーザは信用度を上げ、誤った情報を故意に寄せるユーザは信用度を下げることでデータベースの品質を高く維持する仕組みを確立している。)

データベースには、内容や言語ではなく、メール中で変更不可能な部分に焦点を当てスパムメール特有の特徴を抽出した情報である“フィンガープリント”が登録される。また、ユーザからの報告を受けるとデータベースをほぼリアルタイムに更新できる機能を備えている。



スパムメールは、明らかに有害であるウイルスメールと異なり、対処すべきメールの見極めが困難だが、コラボレーション型スパムメール認識技術では、確実にスパムメールかどうか多数の意見が一致しない曖昧なメールは「スパム」と判断されず、また、個人間のメールが「スパム」と判断される可能性は非常に少ない。これにより、誤って通常のメールをスパムメールとして処理する(フォールスポジティブ)を回避でき(誤検知率0.0001%以下)、スパム検知率は最低でも98%以上で、従来型スパム対策の課題が明らかになりつつある中、今、それらを解決するものとして注目を集めている。

また、多くのスパムブロック技術がスパムの増加と多様化に対応するのが困難なのに対し、コラボレーション方式は、スケールが大きくなるほど精度が上がる数少ない技術。